

9. 平成17年度婦人防火クラブ員救急講習会

救命リレー、100人がスタートラインに！—安心が地域に広がる、救命の連鎖—

神奈川県 横須賀市消防局

平成17年9月8日(木)、「救急の日」を前に横須賀市婦人防火クラブ運営協議会では、(財)日本防火協会から交付を受けた自動体外式除細動器(AED)トレーナー及び応急手当講習テキスト等を活用して、市内各地域の婦人防火クラブから代表100名が参加した「普通救急講習会」を開催しました。

救急救命士を講師に招き、説明の後、班ごとに分かれての実技講習が行われました。

人形を使っての2人1組での傷病者に対する気道確保、人工呼吸法、心臓マッサージに至る心肺蘇生法などを学び、講習会修了者、全員に修了証が交付されました。

地域における「早い通報」「早い応急手当」に積極的に貢献し、今後の救命効果に一層の期待が持てます。



[▲ このページの上に戻る](#)

救命知識学んで—東児湯消防組合消防本部が救急救命講習を実施—

宮崎県 東児湯消防組合消防本部

救急救命の知識を習得してもらおうと、8月20日(土)、9月17日(土)、10月12日(水)、10月14日(水)、10月18日(火)、11月1日(火)に婦人防火クラブ員と対象として、救急講習会を実施しました。

10月18日(火)に高鍋町中央公民館において開催された講習会では、高鍋町婦人防火クラブ(原田佳子会長)のクラブ員38名が心肺停止者の蘇生方法などを学びました。

講習会では、患者への声掛けや救助に携わる際の指示の出し方などを確認、救急トレーニング人形を使った人工呼吸、心臓マッサージの実習で救助が成功すると会場から拍手が送られました。

後半は、昨年7月から一般市民への使用が解禁された自動体外式除細動器(AED)を使った訓練を実施し、参加者は機械の音声ガイダンスに従って的確に操作していました。

東児湯消防組合消防本部の瀬川幸一郎消防士長は「一報から救急車が到着するまでに6・7分はかか



る。救命率向上のためにも多くの人に救命講習を受けてほしい」と呼びかけました。

原田会長は「いざというときに落ち着いて応急処置ができるように繰り返し訓練していきたい」と話していました。

また、11月1日(火)に都農町老人福祉館において開催された講習では、都農町婦人防火クラブ(三輪齊子会長)のクラブ員33名が参加しました。

呼吸停止後、約10分で50%が死に至るといわれており、救急車が到着するまでの人工呼吸と心臓マッサージを組み合わせた心肺蘇生法を確実に習得することに重点を置きました。

講習会では参加者全員が講習用の人形を使って、胸の上に置く手の位置や呼吸を送り込む方法などを繰り返し体験しました。

後半は、自動体外式除細動器(AED)の使用法を確認し、東児湯消防組合消防本部の河野孝之救急救命士がダミー人形の胸に専用の電極パッドを張る手順を説明しました。

参加者の婦人防火クラブ員は使用の手軽さに感心しながらも、町内の公共施設へのAED設置を望んでいました。



▲ [このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 首都直下地震対策大綱](#)
- [2. 平成17年度消防功労者総務大臣表彰](#)
- [3. 新潟県集中豪雨・中越地震その後 第1回\(婦防リーダーマニュアル作成委員 全国地婦連 浅野幸子\)](#)
- [4. 宮城県・福島県両連絡協議会会長所属婦人防火クラブ間での交流会について](#)
- [5. 平成17年度婦人防火クラブ連絡協議会幹部地域研修会\(中国・四国ブロック\)](#)
- [6. 平成17年度自主防災組織リーダー研修会\(宮城県・北海道\)](#)
- [7. 安全功労者消防庁長官表彰を受賞して\(静岡県女性防火クラブ連絡協議会会長 鈴木政子\)](#)
- [8. 住宅用火災警報器の普及啓発に向けて、各地で婦人防火クラブ員研修会を開催](#)
9. 平成17年度婦人防火クラブ員救急講習会
- [10. 地方からの便り](#)
- [11. あなたも危険物取扱者・消防設備士](#)
- [12. 日本防火協会からのお知らせ](#)